

笛吹市社会福祉協議会

かかけはし



地域を支える“顔”

27'春号
第42号 平成27年5月発行



—宮地域事務所移転のお知らせ

〒405-0073
山梨県笛吹市一宮町
末木 807-6
TEL : 0553-47-2288
FAX : 0553-20-5210



地域の皆さんがご利用しやすくなります！

2015年4月1日(水)より一宮地域事務所が
笛吹市役所一宮支所内に移転しました。

発行 社会福祉法人

笛吹市社会福祉協議会

住所／〒406-0822 笛吹市八代町南 917
電話／055-265-5182 FAX／055-265-5183
広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。
発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘



CONTENTS ～目次～

- P2**▶▶ ● 平成27年度事業計画・予算
- P3**▶▶ ● 第7回笛吹市社会福祉大会
第1部 記念式典
- 第2部 基調講演・シンポジウム
～地域で支える子どもの未来～
- P6**▶▶ ● 第7回笛吹市社会福祉大会
ボランティア功労賞・奨励賞受表彰者のご紹介
- 善意の寄付・寄贈の御礼
- 赤い羽根共同募金のご報告
- P7**▶▶ ● 特別会員会費の御礼
- P8**▶▶ ● 「ふえふき通信」

平成27年度

社会福祉法人
笛吹市社会福祉協議会

事業計画

本年度も笛吹市社会福祉協議会は「誰もが安心して暮らすことができる地域福祉の実現」のため、「笛吹市地域福祉活動計画」、「笛吹市社会福祉協議会発展・強化プラン」のもと、住民の皆様との協働で諸施策を実行してまいります。

私たちは、昨年の未曾有の雪害から、地域住民の生活を守るためには地域の力を高めることが最も必要なことの一つであることを学びました。昨年度は、この学びを活かし、地域の力を高めるために、ボランティア活動への理解と参加を促進し、ボランティアセンターの設立に向けて確実に歩みを進めることができました。また、地域住民や地域で事業を展開する事業所と協働で、子どもから高齢者までの見守りを行う見守りネットワークも組織化してまいりました。これらの活動を通して、社協の原点である、誰もが住みやすい地域をつくるためには、地域住民とともに

活動を行うことが絶対的に必要であることと、そのための仕組みを作ることが重要であることを確認いたしました。

また、子ども子育て支援については、関係者のご協力の下アンケート調査を行い、社会福祉大会で報告させていただきました。その大会でのシンポジウムからも、社協としての活動のヒントを得ることができました。

今年度は、昨年度のこれらの実践を継続し、さらに発展させるために、次のような重点目標を掲げ地域住民とともに、社協のスローガン「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」に一步でも近づけることができるよう、活動してまいります。

住民をはじめ地域の関係者の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

■ 重点目標

- ・住民との協働を更に具体的に推進します
- ・各町単位で地域福祉を推進します

■ 具体的な方法

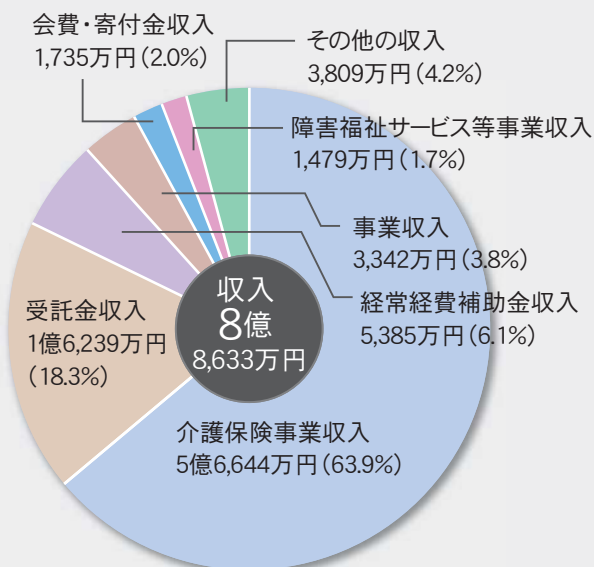
- 1) 相談事業の強化
- 2) ボランティア・市民活動のネットワーク化と活動支援の強化
- 3) 地域福祉推進のための各町の仕組みづくり
- 4) 介護保険事業と地域福祉の連携

平成27年度

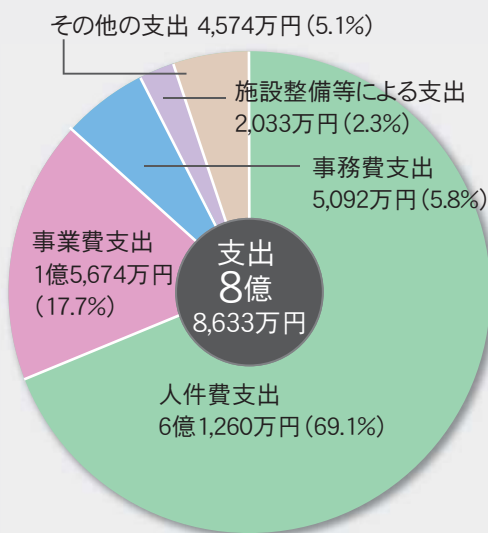
予算

※サービス区分間
繰入金収入・支出を除く

収入



支出



平成27年度当初予算について、収入を見てみると、前年度と比較して685万円減の8億8,633万円を計上しています。これは、補助金・受託金の減額が主な要因となっています。また、支出を見てみると、前年度と比較して179万円減の8億8,633万円を計上しています。

介護保険事業収入や皆様からいただく会費・寄附金収入等の自主財源が収入の約75%を占め、笛吹市の地域福祉に充てられています。

協会の役割

住民

笛吹協
社

笛吹市

安心して暮らせる
幸せあふれる
まちづくり

地域づくり

福祉教育

災害対応

相談



安心して暮らせる
幸せあふれるまちづくりを目指して

第7回笛吹市社会福祉大会

笛吹市の社会福祉に貢献された方々に感謝の意を表し、記念式典を開催

記念式典を開催

平成27年3月1日に石和スコレーセンターにて、「第7回笛吹市社会福祉大会」が開催されました。大会第一部の記念式典では、笛吹市の社会福祉に貢献された24名8団体の方々へ、本会会長の早河正弘より表彰状の授与ならびに感謝状の贈呈が行われました。山梨県社会福祉協議会常務理事末木浩一様、笛吹市長倉嶋清次様、笛吹市議会議長大久保俊雄様をはじめ、約2百名の福祉関係者が一同に会し、盛大な式典となりました。



ボランティア活動功労賞

この賞は、ボランティア活動に多大な貢献をされた個人・団体の方々に贈られます。(順不同)

- 小林美好様「石和」
- 相川昭夫様「二宮」
- 早川鶴子様「八代」
- 中山幸子様「八代」
- 中山八十司様「八代」
- 小林今朝則様「芦川」
- 立澤壽美子様「芦川」
- 芦澤令子様「芦川」
- じよいそーらん
- 石和MOMO華様「石和」
- 笛吹ローズクラブ様「石和」
- 御坂地区民生委員児童委員協議会障害者部会様「御坂」
- 芦川小学校様「芦川」

ボランティア活動奨励賞

この賞は、今後の活動が期待されるボランティアの個人・団体を奨励するために贈られます。(順不同)

- 清水惇子様「石和」
- 石原秀恭様「八代」
- 株式会社沢田屋薬局様「石和」
- 境川童謡の会様「境川」
- 山梨ヤクルト販売株式会社様「甲府」



▶ ボランティア活動功労賞・奨励賞を受賞された方々の活動が、動画で紹介されました。

※動画は本会ホームページからご覧いただけます。



金品感謝状

この感謝状は、本会に10万円以上のご寄付を賜りました個人・団体の方々に贈られます。(順不同)

- 小池淳子様「御坂」
- 中村大助・由美子様「二宮」
- 早河正弘様「二宮」
- 内田高子様「二宮」
- 秋山和則様「八代」
- 雨宮隆様「八代」
- 彩の会日本舞踊教室様「二宮」

笛吹社協特別感謝状

この感謝状は、本会の理事・評議員として5年以上に渡り、地域福祉の向上にご尽力をいただいた方々に贈られます。(順不同)

- 羽中田弘巳様「石和」
- 岡徹也様「石和」
- 三枝宣子様「石和」
- 清水栄子様「石和」
- 小池敏夫様「二宮」
- 橘田志げじ様「八代」
- 田草川睦美様「春日居」
- 鎮目堅士様「春日居」

7th social welfare meeting
in Fuefuki city

基調講演『すべての子どもの育ちを支える地域づくり』

講師 淑徳大学 教授 柏女霊峰氏



第7回笛吹市社会福祉大会第2部では、柏女先生の基調講演とシンポジウムが行われました。以下に、その概要を報告します。(敬称略)

1. 基調講演

来年度から新しい子ども子育て支援制度が始まります。この制度は、消費税財源を追加投入して子どもの分野を飛躍的に強化充実した制度です。しかし、その制度というものは、それぞれの制度が別々になつていて、制度間で連携があまりとれていません。そのため、制度と制度の谷間に落ちてしまいう子どもや家庭が生じるという課題があります。

この課題を解決するためには、民間の活動、あるいは地域の自主的な活動や組織的な活動がとても大事になります。それでもなお、これらの地域や民間の活動がバラバラに行われているのでは、さらにこれらの活動の谷間に落ちてしまいう子どもや親子が出てしまいます。

この狭間に落ちる親子を出さないために、民間の方々が緩やかに繋がって、取り組みの場をつくる、それによって制度の間の隙間を無くしていくことができます。この制度の隙間を埋める舞台を「プラットフォーム」と呼びます。このプラットフォームづくりがこれからの子ども子育て支援にとって重要になります。

2. シンポジウム

① シンポジストからの報告

〔高野〕 児童課では、①子どもすこやか医療費助成事業、②児童手当支給事業、③児童扶養手当支給事業、④病児・病後児保育事業、⑤ファミリー・サポート・センター事業、⑥地域子育て支援センター事業、⑦学童保育クラブ事業、⑧児童館・児童センター事業、⑨子育て応援カード事業、⑩児童虐待等の家庭相談を行っています。

子ども子育て支援事業計画は「育つよここび育てるしあわせみんなで子育てのまち笛吹」を基本理念とし、幼児期の教育保育や地域における子ども子育て支援を総合的に推進し、すべての子どもたちが笑顔で成長し、すべての家庭が育てる喜びや幸せを感じられ、地域全体で子育てを支える「みんなで子育てのまち笛吹」となるよう推進します。



須田徹氏
高野守氏
笛吹市における現在の児童施策について
高野守氏



須田徹氏
笛吹市における現在の保育施策について
須田徹氏

〔須田〕 0歳から2歳児の人口は減少傾向ですが、保育ニーズは年々増加しています。この要因は、①核家族化の進行、②働く女性の増加、③社会保障制度の充実など、女性が子どもを産み育てながら働き続けられる社会が徐々に進んできていることがあると思います。

0歳から2歳児の保育では年長児に比べて多くの保育士の確保が必要などの課題はありますが、これらのニーズに応えられる様に取り組んでいます。

〔曾根〕 学びの広場ふえふきは、退職教員を中心に、学校教育を支援する目的でつくられました。事業の目的は、様々な学校教育への支援を通して児童生徒の健全な育成に寄与していくことです。事業は、学校教育の支援、学童保育の活動支援が柱で、これらを一体的に運営しています。

学校教育の支援は、地域の歴史、伝統文化などを学ぶ「地域学習の支援」、小学生対象の放課後子ども教室や体験教室

中学生対象の土曜学びの広場などの「学習活動の支援」、先生や保護者対象の教育講演会の「研修の支援」です。

学童保育の活動支援では、人との交わりを通して人とかかわりの術を学ぶ、豊かな人間性を育む、先生の知恵を学ぶなどを目指しており、私たちは、常に子どもたちのためにできること、してやりたいことを考えながら指導しています。

〔古屋〕 社協は「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」を目指して、福祉教育、地域づくり、災害対応、相談の4本柱で活動しています。

福祉教育は、福祉講話、思いやりの心を学ぶ場づくりなどの福祉のこころ醸成事業、ボランティア活動支援などを行っています。地域づくりは、住民活動への支援と事業所による見守りネットワークづくり、世代間交流や住民による実行委員会を組織してのお祭りなどの地域交流事業などです。災害対応では、聴覚障がい者の避難訓練のサポート、救急法の訓練、雪害ボランティアセンターの設置などです。相談では、フードバンクの利用や母子家庭への経済的支援、近所の気になる子どもについてなどの相談が増えています。

② 社協アンケートの報告

〔長谷部〕 子ども子育て支援を行っている地域役員、団体が対象の「子育て環境調査」と社協とかかわりのある子育て中の家庭が対象の「子育て家庭調査」を実施しました。

子育て環境調査では、現在は人的な活動や制度面、児童館などの施設は良好で

すが、施設の老朽化や歩道などの整備が不十分です。今後は、政策や人的交流への期待は大きいですが、制度の変化が支援の向上に結びつくかどうかや少子高齢化の進展による地域の支援力の低下、幼児教育機関への影響などに不安があり、今後の子育て環境は厳しくなると感じています。子育て環境向上のために、施設などの整備や様々なレベルでの交流の促進、保護者の個性に応じた支援が必要といえます。

子育て家庭調査では、子どもの成長や存在そのものに喜びを感じていますが、子どもの行動特徴や成長に伴う様々な変化への対応に不安があります。どの保護者も感じる不安が、障がいや生活困難、各種の環境要因により強調され、更に子どもの自立や保護者の高齢化による子どもの世話などへの不安が加わり、大きく膨らんでいきます。これらの不安に対して、経済的支援の充実や各種制度の使い勝手の改善などを望んでいます。保護者の緊急時の支援で生活の安定をはかり、学習や様々な体験を経験できる支援で子どもの成長を促し、地域社会での「居場所」の確保を望んでいます。社協へは、様々なレベルでの交流の場の構築と、相談事業や緊急時を含む家庭への支援事業を望んでいます。

③フロアとの意見交換(Fはフロア)

【F1】表面的な対処療法も必要ですが、それだけでは問題の本質的な解決にはならないと思います。どのような対応が必要でしょうか。

【柏女】議論が行われる場所に、どのような社会が必要なのかということ、実践をしている中で感じていることを発信していく



子どもの安全・安心な居場所づくり
曾根修一氏

ことがとても大切だと思います。

【F2】実際の子どもの相談では、その背景となる家庭や高齢者の問題が必ずといえるほど重なります。子どもだけでなく、社会全体のプラットフォームが必要と考えますが。

【柏女】おそらく、将来的にはそうなっていくだろうと思います。高齢者、障がい者、子どもそれぞれの仕組みを一緒に組み合わせていくことが進められると思います。

【F3】社協には、今後も中学生に向けて、将来親となるための体験ができる事業を長く続けていただいて、全部の中学校でできるように一緒にやっていきたいと考えています。

④シンポジストのまとめ

【高野】地域ぐるみの子育て支援の充実で具体的にすることが見えてきた気がします。地域の役割が大切だとすごく感じています。プラットフォームづくりは大切で、いろいろな問題を解決しなければならぬと感じています。



子どもがかがやく地域づくり
「子ども・子育て支援に関するアンケート結果」報告
古屋まゆみ
長谷部信浩

【須田】保育の質の向上に、地域での交流、世代間交流など、お金をかけずに取り入れられることもあるということを改めて認識しました。

【曾根】大人が変われば子どもの心が変わると思います。そのために、家庭や地域で、大人の子どもへの気配りが大事ではないかと考えています。

【長谷部】今後、市民団体、NPO、ボランティア、地域住民の協働できる場がつくられ、そこに社協が少しお手伝いできたらと思います。

【古屋】社協として、ネットワークを繋ぐこと、いろいろな課題の相談を受ける力を社協が持ち行政とのパイプを太くして相談事を確実に解決に繋げられるようにすること、そして、住民が地域の中の困り事や課題に気づき、発見し、近くから手を差し伸べられる地域のネットワークづくりをしていきたいと思っています。

⑤柏女先生のまとめ

このままでは地域住民の見守りなどの支援が継続できなくなると危機感を持つ方がかなりいます。それを避けるために、子ども同士、子どもと高齢者、子どもと親、親同士など、様々な交流の場をつくることと支援者同士が繋がる場をつくること、そして大事ではないかと話し合われました。その中で民間の事業者の役割がとっても大事になるのだと思います。地域住民一人ひとりの繋がりが限界に近づいている以上、民間の事業者の役割はとても大事になると思います。

二つ目は、アウトリーチができることが大事になると思います。様々な課題を抱える方々は積極的にSOSを出す方ばかりではありません。そのような人々に対して、それぞれ得意分野、不得意分野がある民間団体や民生児童委員などが、自分の長所をしっかりと活かしながら緩やかに繋がっていく場が必要と思いました。それが、関係者が集まるプラットフォームということになります。

この大会を参加者だけで共有するのではなく、まわりの方々にも働きかけて、すべての子どもが包摂される社会になっていく一歩となることを願いたいと思います。



シンポジウム

『地域で支える子ども未来』

コーディネーター 柏女霊峰氏

シンポジスト

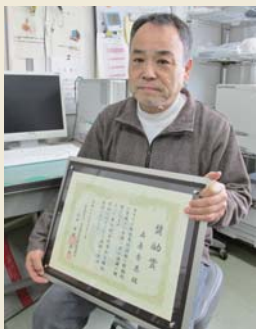
- 笛吹市児童課 課長 高野守氏
- 笛吹市保育課 課長 須田徹氏
- 特定非営利活動法人学びの広場ふえふき理事長 曾根修一氏
- 社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会 事務局次長 古屋まゆみ



第7回笛吹市社会福祉大会 ボランティア功労賞・奨励賞受彰者のご紹介

石原秀恭 様

パソコン教室は月曜と金曜の午前中の週2回開催。まさに手取り足取りの指導。



支援センターでのパソコン教室の講師や市民後見人など、多方面に活躍される石原さん。「還暦を迎え、広い社会の中で人の支援を受けながら生きてきた。今度はそれを社会に還元したい。それが社会福祉に繋がると考えている。活動で大事な事は、相手を知ること。特に後見人は責任が重大。でも、それが喜びに繋がるから嫌だと思ったことは一度も無いよ。」と笑顔で語る石原さんです。



「市民後見人が増えて欲しい」それが石原さんの願いです。

御坂地区民生委員児童委員協議会 障害者部会 様

皆が大事な仲間、自分が皆に教えられている。



障害者地域活動支援センターの農園作業のボランティア活動を行っている御坂民生委員協議会障害者部会の皆様と小林さん（H23 表彰）に聞きました。「自分でも出来る事をしたいと、障がい者の皆さんと関わりを持ち始めた。表彰されて何だか困ってしまう。でも、いろいろな方が協力してくれて、皆さんの力があるからこそ、表彰していただいたと思っている。車椅子の方であってもどんな方でも一緒に参加して、楽しみを持ってもらいたい。」と語っています。



声をかけ合い、楽しく農作業をしています。

清水惇子 様

“気付き”が信頼に変わる。寄り添うことが大事。



市民後見人の清水さんが、支援する方が入所されている施設を訪問した際の様子です。ご本人の様子をゆっくりと聞き取りながら、金銭面のことはもちろん、髪の長さや身だしなみ、食べ物の事等、細やかな気遣いで、他の人が気が付かないことでも、本人の思いを汲み取って、施設の職員に伝えています。「自分の将来を写す鑑として、本人の身になって考えたい。」「多くの方にこういった活動に興味を持って欲しい。」とおっしゃっています。



ご本人のペースに合わせて明るく話を聞いています。

善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまから寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。

※順不同になります 平成27年1月～3月

石和町スポーツ少年団本部 様 [石和]

▶ 2,498円

愛の一円玉募金（アピタ石和店）様 [石和]

▶ 26,430円

笛吹市赤十字奉仕団石和分団 様 [石和]

▶ 電子レンジ、電気ポット

笛吹市立御坂西小学校 様 [御坂]

▶ タオル162本、日本手ぬぐい13本、石鹸122個

笛吹市立御坂中学校生徒一同 様 [御坂]

▶ フェイスタオル87枚、石鹸59個

株式会社飯塚工業 様 [御坂]

▶ 100,000円

斉藤義昭 様 [一宮]

▶ 10,000円

ボランティアひまわりの会 様 [八代]

▶ 15,000円

株式会社土橋製作所 様 [八代]

▶ タオル1箱（約100枚）

八代更生保護女性会 様 [八代]

▶ 3,000円

童謡を歌う会ふるさと 様 [春日居]

▶ 10,000円

笛吹市立春日居小学校児童会 様 [春日居]

▶ シャワーチェア1脚、タオル108枚、石鹸75個

山梨ヤクルト販売株式会社 様 [甲府]

▶ 30,000円

匿名希望 様

▶ 洗濯洗剤一式

匿名希望 様

▶ 5,000円

匿名希望 様

▶ 20,000円



赤い羽根共同募金のご報告

13,966,937円（前年比101.2% 目標達成率102.4%）

皆様のご協力により目標額を達成することが出来ました。お寄せいただいた募金は自分のまち（笛吹市）の地域福祉のために使われます。ご協力、誠にありがとうございました。



社会福祉協議会では、地域福祉活動を円滑に進めるために、多くの企業・事業所の皆様にご賛同をいただき、特別会員にご加入をいただきました。心からお礼申し上げます。今年度もご理解とご協力をお願いします。
※ 1口5,000円以上のご協力をいただいた法人会員様のみ掲載させていただいておりますので、ご了承ください。

ご協力ありがとうございました。

平成26年度ご協力いただいた、企業・事業所の皆様（敬称略・順不同）

3口以上

石和
医療法人 石和温泉病院
石和青果市場
御坂
有限会社丸山
株式会社小山電気
株式会社飯塚工業
一宮
アルプスワイン株式会社
一宮温泉病院
温本
有限会社空研

2口

御坂
サンシン美装
御坂農園グレイブハウス
村松油店
有限会社甲斐テック
有限会社タナカ設備
有限会社成田自動車工業
千野建材株式会社立沢工場
ユニカミルタオプトプロダクト株式会社
株式会社三和商会
株式会社日工建設
株式会社三和リース

一宮
いちのみやケアセンター
甲斐いちのみや金桜園
有限会社中井製作所
有限会社早川運輸
有限会社一宮交通
有限会社田中電気
有限会社NEO
日本システムウェア株式会社山梨ITセンター
エルテックサービス株式会社
大和工機株式会社
桔梗屋株式会社
株式会社山梨中央銀行一宮支店

境川
エンドレスハウザー山梨株式会社

春日居
春日居町仏教会
春日居町老人クラブ連合会
サンコー貴金属株式会社

本所
医療法人康麗会笛吹中央病院
笛吹農業協同組合八代支所
日通商事株式会社
山梨ユニフォーム株式会社
石川調理機株式会社
相互印刷株式会社
東京コンピュータサービス株式会社
日本連合警備株式会社
株式会社クレスト
株式会社セルバ
株式会社松田衛生
株式会社アイティードゥ
株式会社SPC

1口

石和
アピタ石和店
イオン空館トルエ
おの整形外科クリニック
カーテンじゅうたん王国
かんぼの宿石和
ゴールデンベルゴルフクラブ
ふえふきこどもクリニック
医療法人イワマ歯科
一般社団法人山梨トラック協会
花水
晶山
居宅介護支援センターエラゴラザ石和
京水
庄
京水
皮膚科 医院
科
甲州ハビリテーショングループ
甲府信用金庫石和支店
山梨県民信用組合石和支店
山梨文化財研究所
糸柳別荘和穠
若深雪温
清水内科クリニック
石和びゅうほて
石和名湯館系
沢田屋業
笛吹ゴルフセンタ
管吹農業協同組合岡部支
富士野屋タ亭
保坂自動車整備工場
明光義塾石和教室
銘石の宿かげ
野村歯科クリニック
野沢製作所
みなもと旅館
旅館
館
和風旅館
ホテルアイネイン山
ホテルうかた
ホテルくにとち
ホテルシャンティ石和
ホテルパティオア
ホテルふくじ
ホテルやまなみ
ホテル花いさわ
ホテル花佳
ホテル古柏園
ホテル甲子園
ホテル石八庭
ホテル平安
慶山グループホテル甲斐路
石和常磐ホテル
コマツガーデン有限会社
新富有限会社
有限会社きぬ川
有限会社デリーヤマザキ川中島店
有限会社ブックスア
有限会社ミサワ
有限会社岡部タクシ
有限会社協英クリニ
有限会社森沢運
有限会社深澤石材店
有限会社諏訪建
有限会社石和交
有限会社石和酒
有限会社泉山
有限会社田中新
有限会社東八通
有限会社東邦ハ

有限会社東陽プロテック
有限会社福田石和店
有限会社末木建設
穴水株式会社ドラッグ石和店
本坊酒造株式会社山梨カズワ
川村義肢株式会社山梨営業所
グリエシステム販売株式会社
サンリツテクノ株式会社
ジャーナル株式会社
モンデ酒造株式会社
岩野株式会社
鬼久々島精工株式会社
甲斐運輸株式会社
山内煙火店株式会社
秋山酒類販売株式会社
石和タクシー株式会社
中込建設工業株式会社
藤本電業株式会社・藤本林業株式会社
日東物産株式会社
日之出観光自動車株式会社
風間建設株式会社
望月建設株式会社
明友機工株式会社
友愛工業株式会社
株式会社ヴァッセン
株式会社カモシタ
株式会社ネットヨタ山梨石和店
株式会社芦沢組土木
株式会社同工業
株式会社関東リース興業
株式会社宮下測量
株式会社細田協佑事業所コフレ
株式会社山梨技術研究所
株式会社秋山
株式会社初鹿野商店
株式会社小松遊覧農場
株式会社小林リー
株式会社神宮測量
株式会社川合商店
株式会社川阪食品
株式会社直井運送
株式会社笛吹の華
株式会社天野サービス
株式会社天野建設設計事務所
株式会社社日食
株式会社雄松堂書店

御坂
介護付有料老人ホームリブズ笛吹
錦生バン出月
御坂自動車修理工場
甲府国際カントリークラブ
篠原
篠原歯科医院
社会福祉法人光珠福祉会養護老人ホーム光珠荘
斉藤
朝日
望月内科クリニック
有限会社オクトプロ知
有限会社タカノオート
有限会社社栄泉
有限会社協栄フォークリサービス
有限会社山下染物工場
有限会社山上野石材店
有限会社風間自動車工業
滝田建材株式会社御坂生工場
ニュー山梨ワイン醸造株式会社
協和住建株式会社
山梨中央交通株式会社
双葉商事株式会社
中村管材株式会社
笛吹ワイン株式会社
東八防災株式会社
鈴健興業株式会社
腕相撲酒造株式会社
株式会社オール・アイ・ビ

株式会社オプト
株式会社カムイリゾート開発
株式会社ケイ・シー・ジ
株式会社雨宮金属
株式会社古屋工
株式会社地場工務店
株式会社日興製作所
株式会社美和運輸
株式会社友喜油
株式会社立沢化成

一宮
あさま保育園
セブンイレブン山梨一宮中央店
セブンイレブン笛吹一宮小売店
やさしい手笛吹事業所
ローソン山梨一宮末木店
一宮保育園
弦間
三森
森
社会福祉法人幸徳会ケアハウスサンイチのみや
相興保育園
中里内科クリニックDM
都保
萩原百貨店
木の花保育園
有限会社マルサフルーツ古庄農園
ノーブル無線株式会社一宮工場
山一産業株式会社一宮工場
小川商会株式会社一宮事業所
島村税務会計事務所
ヤマヨセメント株式会社
山梨ミラクトラン株式会社
大和運送株式会社
土井精工株式会社
日川中央葡萄酒株式会社
武藤工業株式会社
矢作洋酒株式会社
株式会社サン防災
株式会社タイキ
株式会社ニシムラ
株式会社ブレーンズ
株式会社駒井ニット工業
株式会社見晴し園
株式会社古正
株式会社佐野緑化土木
株式会社山下工務店
株式会社山下製作所
株式会社渡辺建工
株式会社洋菓子舗ウエスト
株式会社川上新聞

八代
ウッドストックカントリークラブ
たけい
丸山製作所
江戸屋商店
芝垣工務所
小村米穀店
特定非営利活動法人地域福祉サポート笛吹
八代御所保育所
美咲園
有限会社ニュースセンタータナカ
有限会社加々美組
有限会社石原モータース
有限会社前島園芸
有限会社相川工務店
有限会社東部ガス興業
有限会社桐設備
協和電気株式会社
山本塗装株式会社
相互印刷株式会社
八代醸造株式会社
風間興業株式会社
矢崎興業株式会社
株式会社NIPPO山梨統括事務所
株式会社セイブ

株式会社ゼロ・テック
株式会社滝沢電気
境川
おにぎり工房海成
セブンイレブン境川石橋店
宮川
石油
龍澤自動車整備工場
笛南興業有限会社
有限会社甲南観光サービス
有限会社住まいの高野
クリフ株式会社山梨工場
O B A R A 株式会社
タカハレフジジョンヤシ株式会社
伊豆食品株式会社
山梨牛乳運送株式会社
沼田鉄筋株式会社
上組株式会社
飯田鉄工株式会社
株式会社エル昭和
株式会社サンフッドヤシ甲府境川センター
株式会社ミクニ工業所
株式会社美精螺製作所
株式会社境川カントリー倶楽部
株式会社降矢技研
株式会社高野工務所
株式会社潤工社
株式会社中村工務店
株式会社社笛吹
株式会社福島運輸

春日居
JAフルーツ山梨農業協同組合春日居支所
かすがい東保育所
きもの帯天野
シェソワ甲斐の
よつば
賀茂春日神社
関動物病院
岩崎写真館
企業組合かすがい農産物直売所
三心亭おいがた
山梨県立青い鳥老人ホーム
春日居ライブアパレル管理組合法人
春日居郵便局
諸角歯科医院
大棟
中村自動車整備工場
特別擁護老人ホーム春日居
日の出温泉
飯島輪商
ホテル春日居
別タクシー有限会社
有限会社おくやま
有限会社サンワ企画
有限会社ダスキキタふじ
有限会社黒部工務店
有限会社若尾電装冷機サービス
有限会社手塚石油春日居給油所
フジパッケージ株式会社
日下部運送株式会社
株式会社栄和交通
株式会社菊水屋
株式会社鈴木デンソーサービス

本所
網倉司法書士事務所
フルール夢工房
稲村印刷社
坂本電気管理事務所
山梨中央銀行八代支店
独立行政法人地域医療機能推進機構山梨病院
青柳印刷株式会社
富士急トラベル株式会社
株式会社アダストサービス
株式会社オオキ
株式会社ユニマッライフ
株式会社小林事務機
リコー株式会社

「ふえふき通信」

まりなのレポート

インタビュー



ユニバーサルデザインって何？

～皆で東京に行つて駅を見てきました～

3月8日、笛吹市地域自立支援協議会（障がい者が自立して生活するための街づくりを目的とした活動を行っている会）当事者・家族部会のメンバーが都内の駅で、ユニバーサルデザインを見て触って体験してきました。様々な障がいがあり、様々な年齢層の参加者34人が互いに助け合い、また、ボランティアの協力も得ながら、体験旅行をしてきました。



山梨からリフト付バスにて、中央線国立駅へ行きました。国立駅ではストレッチャーも入る大きなエレベーターに乗ったり、多目的トイレを体験したり、点字ブロック、音声案内や触って分かる説明版を実際に触ったりしました。現在、改修が進められている石和温泉駅をより良いものにするためのヒントをたくさん得ることができました。

参加者の感想

● 初めて電車に乗った。（車椅子で乗っている）電車は横揺れがあつて怖かつたけど、皆が一緒に楽しかった。

【身体障がい】

● 始めて車椅子の方の介助をした。楽しい時間だった。【聴覚障がい】

● 精神に障がいをもつ二人に介助してもらった。大変だったけど、点字ブロックや案内板を知ることができてよかった。【視覚障がい】

● 自閉の子ともさんとずっと一緒にいた。社会の皆は迷惑に感じる場面もあるだろうけれど、まずは、仲間の自分達が理解してあげなければと強く感じた。

【精神障がい】

● いつも「自分の子どもは自分が面倒見なくては」と思っていたが、参加者の仲間に介助していただき、自分が何もなくても子どもが本当に楽しそうだった。肩の荷が降ろせることがあるんだと感じた。

【参加者の家族】



一宮・御坂地区

障がい者地域交流事業



2月27日、一宮ふれあい文化館において、一宮・御坂地区での民生委員やボランティア団体の皆さん、地域で活動する障がい者を持つ皆さんなどが集まり、地域交流を目的として、「障がい者地域交流事業を開催しました。

特に、今回は、「一宮夢心つせんがやつと一宮に帰ってくる」ことができる」という、うれしい報告があり、参加者の皆さんが、「一宮夢心つせん」の新しい施設に掲げる看板に名前を書き込んでくれました。この看板は一宮町の依



田建築所さんが板を提供してくださり、さらに、元老人クラブ会長の小池さんが、綺麗な虹を描いてくださいました。

この日は、御坂地域のボランティアが農園作業で共に作った大根や、一宮民生委員さんの差し入れてくれたりんごを使ったジャムのデザートが出され、また、工作や体操、ゲーム大会などが催されました。皆が大きな声で笑い、語らい、楽しい一日を過ごしました。



皆の優しさに包まれた「障がい者地域交流事業」は、一宮・御坂地域とも毎年参加者が増えて、今年は総勢80人が参加しました。参加者の間に芽生えた「絆」これをもっと強いものにしていきたい・・・と皆が願った一日でした。